



福井商業高等学校JRC部

～災害用ビスケットのレシピを考案～

市社協では、市内の企業や団体から災害備蓄用の食品をご寄附いただくことがあります。2021年10月、災害備蓄用のビスケットを活用したアレンジレシピの考案について、市内の高等学校JRC部(青少年赤十字)に相談したところ、県立福井商業高等学校JRC部の皆さんが、子どもや高齢の方でも食べやすくおいしいアレンジレシピを考えてくださり、2022年3月、レシピ集として提供してくれました。

部員に工夫したことや心がけたことなどを尋ねると「災害時の状況によっては、使えるものや手に入るものが変わると思うけれど、硬さやパサパサ感が無くなるような食べ合わせを追求した」「少しでも気持ちが明るくなったり笑顔になってもらえるように、おいしさだけでなく見映えも意識してアイデアを出し合った」など話してくれました。

どんな時でも食事は元気の源です。このレシピをご覧くださいになり、いざという時に応用できるといいですね。

ビスケットのレシピは右記のQRコードからご覧いただけます。



写真付きで、材料や手順の他、調理後のビスケットの食感、感想なども紹介



福井刑務所

～受刑者の社会貢献作業～



福井刑務所(一本木町52)では、以前から受刑者の社会貢献の一環として、施設外での除草作業などを行っていましたが、コロナ禍により施設外での作業が難しくなりました。

そこで、施設内で行える社会貢献作業について市社協に相談があり、両者で協議した結果、福祉体験学習で使用する児童用車いすや一般用の車いすの清掃や消毒、高齢者擬似体験グッズの修繕などを行うこととなりました。2022年2月に市社協と福井刑務所で協定を締結し、4月から作業を実施しています。

実際に作業にあたっている受刑者からは、「福井市の児童が車いすの使い方を学ぶために使用すると聞き、児童たちのために自分ができる限りのことをしたいと思いました」「自分の作業で喜んでくれる人がいるのならば、自分の喜びになります」といった感想があったそうです。

市社協では、この協定をきっかけに、さまざまな立場の方への理解と共感が育まれるような地域社会づくりを進めてまいります。

